



福島県では、ふくしまに想いを寄せる方々の協力を得ながら、ふるさと復興の決意を新たに、ふくしまから“共に”新たな何かをはじめめる活動として「ふくしまからはじめよう。プロジェクト」を展開しています。

公共土木施設の復旧・復興状況について

福島県 土木企画課

県では、平成23年に発生した東日本大震災、新潟・福島豪雨、台風15号で被災した公共土木施設の復旧状況などについて、平成24年度より復旧の見通しを公表しています。

ホームページで詳しい情報を公開しています。 [福島県 復旧・復興](#)

平成29年度までの災害復旧・復興事業の進捗状況

平成23年に発生した東日本大震災、新潟・福島豪雨、台風15号で被災した公共土木施設の復旧については、帰還困難区域を除く2,144箇所のうち、これまで98%の箇所で事業に着手しており、平成30年2月末までに91%の箇所で工事が完了しました（表1）。

平成29年度に完成した主な箇所としては、浪佐萱浜地区海岸・北泉小高線（南相馬市）や薄磯地区防災緑地、豊間四倉線（いわき市）が挙げられます。津波被災地における復旧・復興事業が概ね計画どおり進捗しました（写真1～2）。

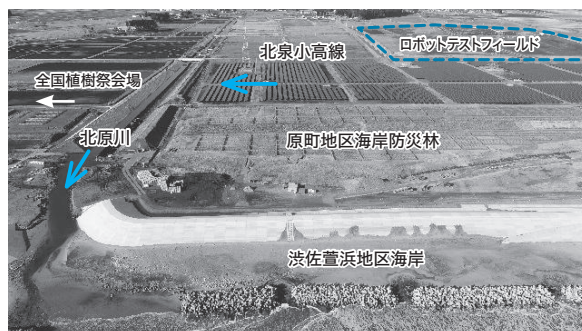


写真1：浪佐萱浜地区海岸・北泉小高線（南相馬市）

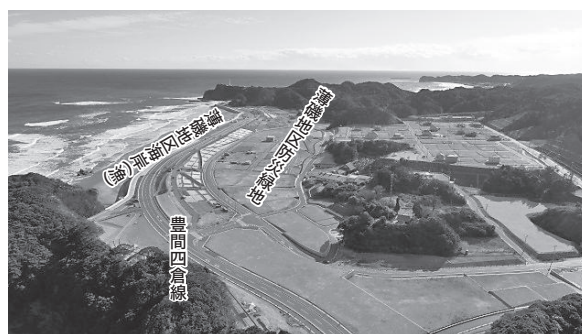


写真2：薄磯地区防災緑地、豊間四倉線（いわき市）

表1：公共土木施設等災害復旧箇所表

（平成30年2月末現在）

公共土木施設等 災害復旧工事箇所	査定決定数 (箇所数)	着工件数		完了件数		完了見通し ※帰還困難区域 を除く
			着工率(%)		完了率(%)	
計	2,144	2,113	98%	1,963	91%	
河川・砂防	283	272	96%	250	88%	H32年度
海岸	157	156	99%	121	77%	H32年度
道路・橋梁	807	797	98%	786	97%	H32年度
港湾	331	331	100%	321	97%	H29年度
漁港	469	460	98%	388	82%	H32年度
下水	3	3	100%	3	100%	完了
公園・都市施設	5	5	100%	5	100%	完了
公営住宅	89	89	100%	89	100%	完了

復興を支える道路や 港湾の整備の進展

県土の復興を支える道路や港湾の整備も進みました。まず、道路についてです。国や関係者の皆様の御尽力により、平成29年11月に東北中央自動車道の福島大笹生 IC～米沢北 IC 間、平成30年3月に相馬福島間の相馬玉野 IC～霊山 IC 間が開通しました（写真3）。また、避難解除等区域周辺の広域的な物流や地域医療、産業再生等を支援するために「ふくしま復興再生道路」と位置づけて整備を進めている県管理道路8路線29工区のうち、国道114号山木屋地区（川俣町）など24工区で工事に着手しており（写真4）、南相馬市と飯館村を結ぶ県道原町川俣線八木沢トンネルを含む10工区で事業が完了となりました（写真5）。その他

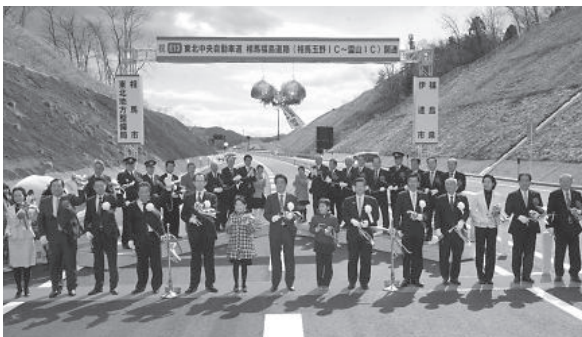


写真3：東北中央自動車道 相馬玉野 IC～霊山 IC 開通



写真4：国道114号山木屋工区 起工式



写真5：原町川俣線八木沢トンネル開通

の路線については、平成30年代前半までの完成を目指し、重点的に整備を進めています。

次に、港湾についてです。小名浜港（いわき市）については、東港地区と3号ふ頭を結ぶ「小名浜マリブリッジ」が昨年4月に完成するなど、IGCC 発電所の運転開始に合わせ、東港地区の供用開始に向けた整備が順調に進んでいます（写真6）。

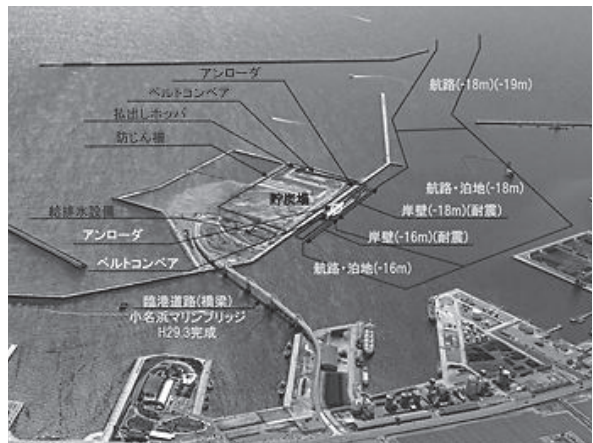


写真6：小名浜港整備状況

また、相馬港（相馬市）についても、4号ふ頭地区にLNG基地が建設されるなど、港湾周辺における新たな企業立地の増加が期待されています。